

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

発見を染しもう。 浜辺の漂着物

浜辺には海や川からさまざまな物が運ばれてきます。時には海外から流れてくる物もあり、さまざまな発見がある。漂着物。その種類や観察法などを研究すると面白い。知ることは発見。貝で作ったストラップ



平成二十六年
九月二十一日(日)
午前九時三十分
西瀬海岸にて

北西季節風が吹き始める。木杓(し)一号から念がはじま。大荒れの日本海側の海岸は漂着物で埋め尽くされます。日本では漂着物を「奇物」といいそれを求めて決を歩くことを「決せま」。海はしりと言っています。決木では「しり」ミグとい。まの効のみに聞かれます。いから来たのか、楽しさ。波の音を聞き風を受けて。歩の心が癒やされます。



2014/09/21

「ビーチコーミング」とは、手で漂着物を拾い集めること。それを「ビーチコム」(Beach Combing)という。それを「ビーチコム」(Beach Combing)という。



2014/09/21

動物性タンパク質の赤潮

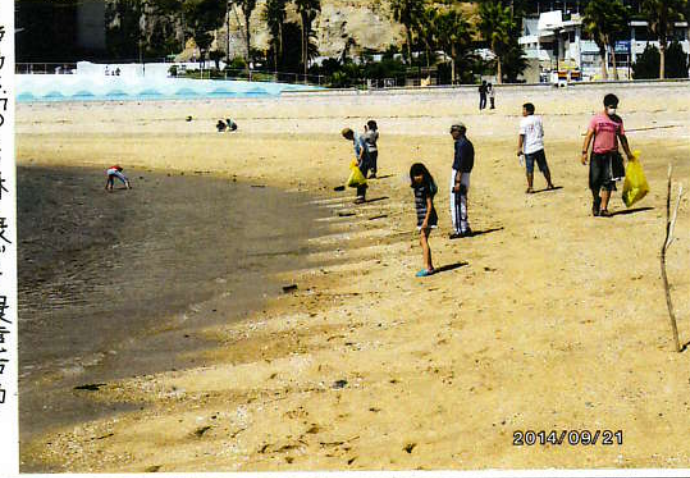
プラスチック片。軽くて自由に形を変えられる。プラスチックは大変便利。なものだが、自然界にそれを食べたり分解したりするものがほとんどない。ゴミとして海を汚染し続ける。

「ビーチコーミング」活動



2014/09/21

この活動は、あいち緑と緑の環境活動。学習推進助成事業。貝育き、みんなでゴミも拾いました。



2014/09/21